

荻窪の歴史・まち・人を想う 15 の提案

～「住んでよし、訪れてよし」のためのプラン集～

15 Suggestions for our OGIKUBO

to be a better place to live in and a better place to visit

令和2年3月
March, 2020

目 次

1. 背景と目的	1
2. 位置付け	2
3. 対象区域	3
4. 基本理念	4
5. 叶えたい具体的なまちのイメージと提案プラン	5
6. 各提案プランの実施ステップ	15
7. 今後に向けて	17
参考資料	18
（1）地域資源	19
①すぎなみ景観ある区マップ	
・ 荻窪南編	
・ 荻窪北・下井草編	
②駅からお散歩マップ	
・ おぎくぼ南エリア	
・ おぎくぼ北エリア	
③三庭園めぐりマップ	
（2）策定経緯	27
（3）参考文献	28

1

背景と目的

杉並区では、地元発意のまちの将来像である「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案（平成27年）を受け、「荻窪駅周辺のグランドデザイン」として、平成29年に「荻窪駅周辺まちづくり方針」（以下、「まちづくり方針」という。）を策定しました。

荻窪には数多くの地域資源が集積しており、「まちづくり方針」では、「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」を目標の一つとしています。国指定史跡「荻外荘^{てきがいそう}」（近衛文麿旧宅）（平成28年3月指定）を活用した史跡公園「（仮称）荻外荘公園」の公開（令和6年予定）は、現在でも増加傾向の見られる来街者をさらに惹きつけることでしょう。

しかしながら、地域住民の方から、訪れる方が増えることに対して不安の声が聞かれたり、訪れる方からは「住宅地に点在した地域資源の場所がわかりづらい」とのご意見が寄せられている現状もあります。

このまちの現状への対応を、（仮称）荻外荘公園の公開を控えた今、荻窪のまちにお住まいの方、行政、事業者と一緒に考えて、取り組みたい、という思いから、本書の検討が始まりました。

本書は、農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ち等、荻窪のまちの魅力を様々な方に知ってもらうことでその価値を更に向上させ、荻窪にお住まいの方からはますます愛される存在とすること、まちを訪れる方からは「また訪れてみたい」と思ってもらえるようにすること、

すなわち、

「まちづくり方針」で掲げた「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、このまちを舞台としてさまざまな形で活動する人が楽しく取り組めるプランを提案・共有すること

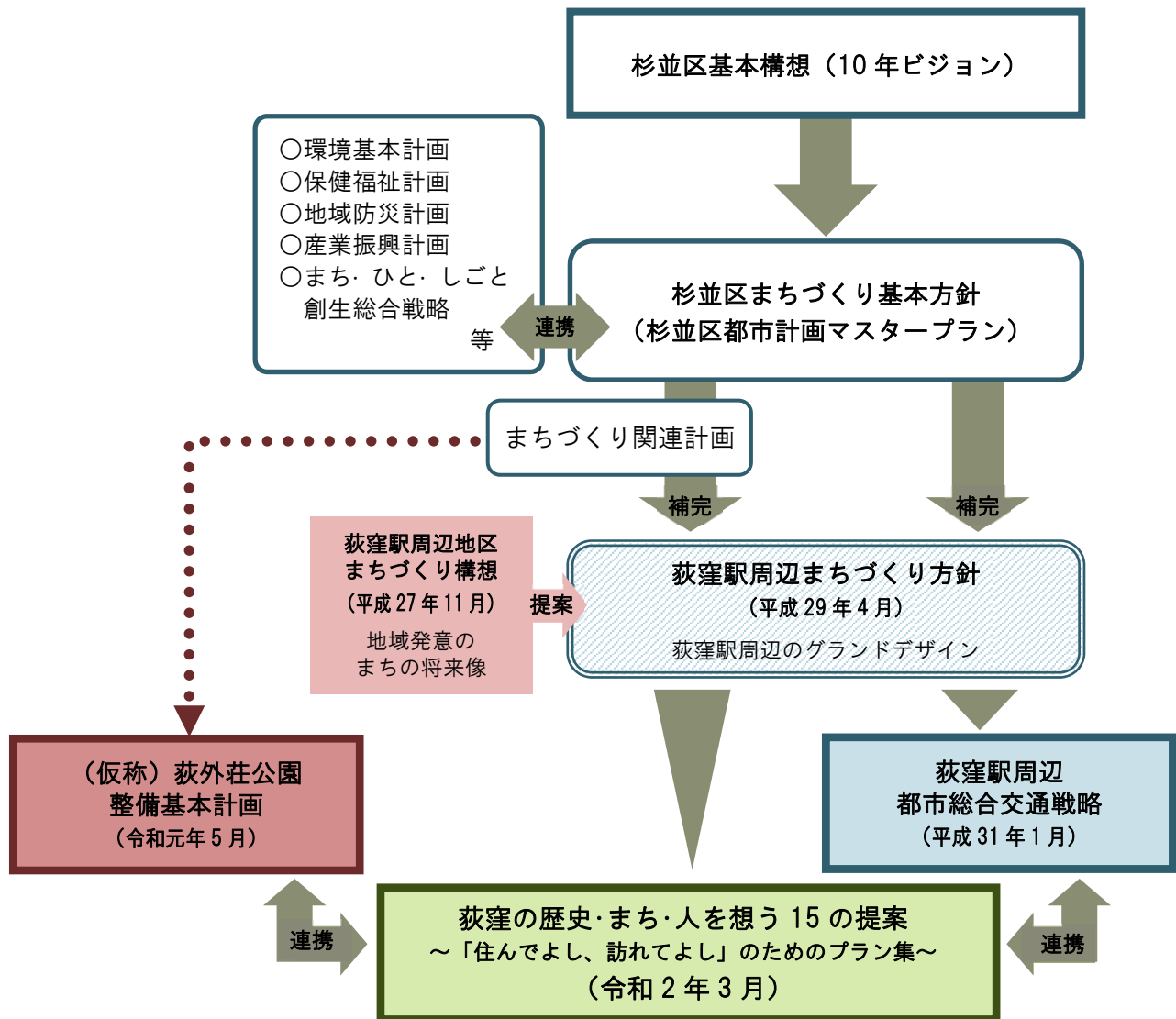
を目的として策定します。

2

位置付け

本書は「杉並区基本構想（10年ビジョン）（平成24年）」、「杉並区まちづくり基本方針（平成25年）」を上位計画とし、「まちづくり方針」の回遊性の向上に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

また、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを目指す「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略（平成31年）」や、荻外荘の復原・整備に関連する施策との連携を図っていきます。



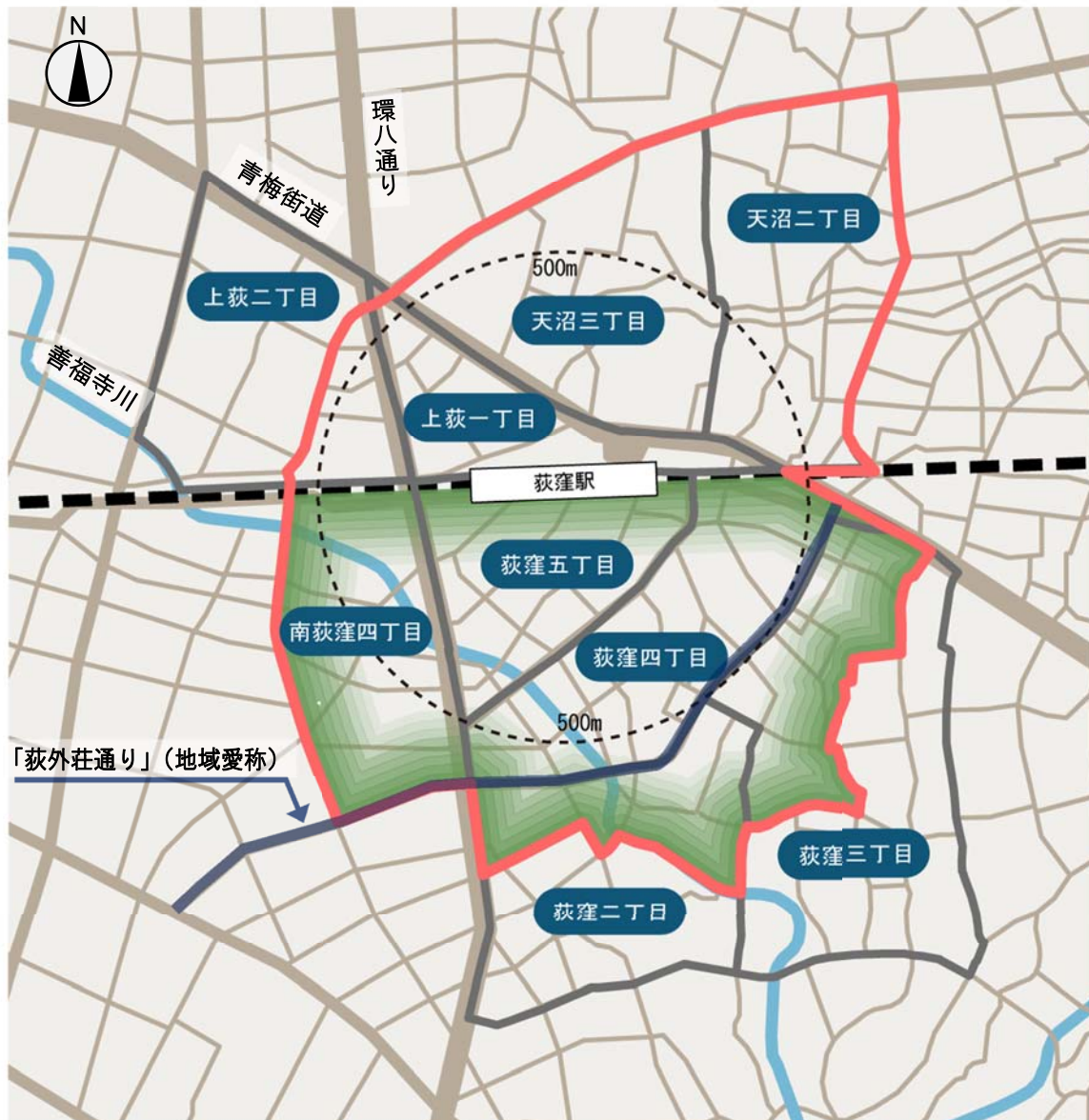
まずは、

（仮称）荻外荘公園の公開に向けて
スタート！



3 対象区域

本書では、「まちづくり方針対象区域」のうち、JR線路の南側エリアを主たる対象としますが、提案プランの内容によっては、「まちづくり方針対象区域」全体に広げて取り組みます。



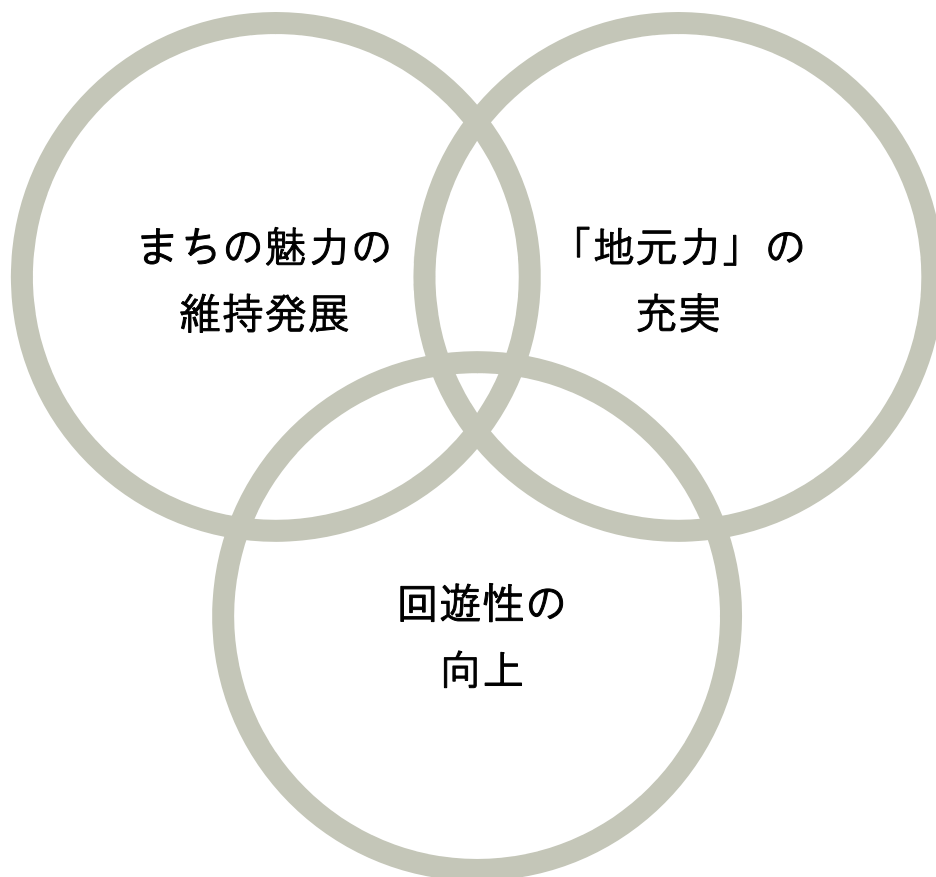
凡 例

- 本書の主たる対象区域
- まちづくり方針対象区域
- 町丁目境界

4

基本理念

この提案プランでは、まちの魅力を将来に渡って味わい楽しんでもいただくために、まちの魅力を維持し更に発展させることに加え、地域全体で来街者を気持ちよくお迎えする「地元力」とも呼べるような力を充実させること、そして、地域住民の皆さまはもちろん、来街者の方にも楽しくまち歩きをしていただけることを目指し、「まちの魅力の維持発展」「地元力の充実」「回遊性の向上」の3つを基本理念に掲げます。



5

叶えたい具体的なまちのイメージと提案プラン

○叶えたい具体的なまちのイメージ

「まちづくり方針」で掲げている将来像及び目標Ⅳ「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、前ページの基本理念を踏まえ、本書の実践によって叶えたい、4つの具体的なまちのイメージを定めます。

叶えたい具体的なまちのイメージ	
その1	まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる良好な住環境を守り育てるまち
その2	地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、来街者を気持ちよくお迎えするまち
その3	貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち
その4	歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

基本理念

「まちの魅力の
維持発展」

「地元力の充実」

「回遊性の向上」

まちの将来像・目標 （荻窪駅周辺まちづくり方針）

将来像

「住宅都市杉並の芯として歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち」

目標Ⅳ

「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」

○叶えたい具体的なまちのイメージ実現に向けた提案プランの見方

○まちの現状

「叶えたい具体的なまちのイメージ」に関連するまちの現状や、住民の意見等を整理しています。

○提案プランイメージ

実施予定の提案プランに関連する参考事例を整理しています。

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる
良好な住環境を守り育てるまち

■まちの現状

- ・農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ちは、萩窪らしさの一つです。
- ・都心に近いにもかかわらず自然豊かなことなどから当時移り住んだ政治家・文化人等の邸宅や、文化住宅と呼ばれたモダンな**まちの現状**
- ・当時の面影を残す古木を含む屋敷林等は、大に維持されているものも見られますが、みどりの量は基本的には減少傾向となっています。
- ・いくつかの地元団体が、地域で様々な活動を積極的に実施しています。個々の団体同士がつながると更に面白い、という意見もあります。

■現状を踏まえた提案プラン

毎日「萩窪の記憶」＊プラン 実施主体

- まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「萩窪の記憶」は、萩窪地域地区センター協議会が開催した、萩窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。

それは知らなかった！プラン 実施主体

- 主に地域住民の方々に対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

＜既に実施されている取組です。＞

ありがとう萩窪のボランティアプラン 実施主体

- 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな萩窪のすばらしさを共有します。

こんな活動してますプラン 実施主体

- 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。

実施主体凡例：● 地域住民・団体 / ■ 行政 / ▲ 事業者（企業、周辺の学校等）
※ 塗り色は主な実施主体者

■提案プランイメージ

<参考事例1：Portobello Road Arts Project（ロンドン）>

- ・毎年1人の地元アーティストにスポットを当て、ロンドン郊外の2つの個性豊かなマーケットを結ぶ道路に沿った全長100mのレンガの壁に作品の展示を行うパブリックアートプロジェクトで、10年前から行われています。地域間の連続性の演出等に寄与しています。

＊出典：THE ROYAL LONDON

提案プランイメージ

<参考事例2：落ち葉感謝祭の実施（杉並区/みどり公園課）>

- ・日々の生活の中で恩恵を与えてくれる樹木や樹木の所有者に対し、落ち葉を掃くことやみどりのライフサイクルを学ぶことで、自然の恩恵や樹木所有者の目録の活動に対する感謝を表現するイベントです。落ち葉プールや工作等の催しも実施しており、みどりに親しむ機会の提供を行っています。

＊出典：杉並区HP

コラム（地域の活動）

1、「萩窪の記憶」プロジェクトによるまちの歴史の伝承

明治・大正・昭和にかけて、別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅へと発展した萩窪の歴史を振り返り、パネル展示や講座を通して伝える活動を行っています。

実施主体：萩窪地域地区センター協議会
出典：萩窪地域地区センター協議会HP

2、萩窪の歴史・文化・地形に関するまち歩きガイド

コラム（地域の活動） により、まちに対する萩窪文化講座「萩窪を知るガイド」など、様々なまち歩き講座を実施しています。（株）明るい生活社 萩窪百点

・「萩窪満喫8の字コース」等複数のコースを設定し、地元ガイドによるまち案内を行っています。「萩窪三原間めぐりコース」では、三原間を結ぶエリアを「萩窪南文化トライアングル」として、その魅力を紹介しています。（一社）すぎなみ文化協会まちづくり部会杉並ガイドの会

・「萩外荘通り」（地域愛称）を軸として、大田黒公園、角川庭園、萩外荘などの歴史的・文化的資源を中心に訪ね歩く野外講座を開催し、気軽に楽しくまちを知る機会を提供しています。（萩窪地域地区センター協議会）

出典：各団体のHP

○現状を踏まえた提案プラン

まちの現状を踏まえ、必要と考えられる取組を提案プランとして掲げています。

各提案プランに合わせ、実施主体についても整理しています。

○コラム（地域の活動）

地域の地元団体の方々の活動のうち、「叶えたい具体的なまちのイメージ」や実施予定の提案プランに関連する活動内容の一部をコラムとして紹介しています。

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる
良好な住環境を守り育てるまち

■まちの現状

- ・農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ちは、荻窪らしさの一つです。
- ・都心に近いにもかかわらず自然豊かなことなどから当時移り住んだ政治家・文化人等の邸宅や、文化住宅と呼ばれたモダンな建物が現在も多く残っています。
- ・当時の面影を残す古木を含む屋敷林等は、大切に維持されているものも見られますが、みどりの量は基本的には減少傾向となっています。
- ・いくつかの地元団体が、地域で様々な活動を積極的に実施しています。個々の団体同士がつながると更に面白い、という意見もあります。

■現状を踏まえた提案プラン

毎日「荻窪の記憶」※ プラン

実施主体

- まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「荻窪の記憶」は、荻窪地域区民センター協議会が開催した、荻窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。



それは知らなかった！ プラン

実施主体

- 主に地域住民の方々を対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

<既に実施されている取組です。>



ありがとう荻窪のみどり プラン

実施主体

- 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな荻窪のすばらしさを共有します。



こんな活動してます プラン

実施主体

- 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■提案プランイメージ

＜参考事例1：Portobello Road Arts Project（ロンドン）＞

- ・毎年1人の地元アーティストにスポットを当て、ロンドン郊外の2つの個性的なマーケットを結ぶ道路に沿った全長100mのレンガの壁に作品の展示を行うパブリックアートプロジェクトで、10年前から行われています。地域間の連続性の創出等に寄与しています。

*出典：THE ROYAL BOROUGH OF KENSINGTON AND CHELSEA HP



＜参考事例2：落ち葉感謝祭の実施（杉並区/みどり公園課）＞

- ・日々の生活の中で恩恵を与えてくれる樹木や樹木の所有者に対し、落ち葉を掃くことやみどりのライフサイクルを学ぶことで、自然の恩恵や樹木所有者の日頃の活動に対する感謝を表現するイベントです。落ち葉プールや工作等の催し等も実施しており、みどりに親しむ機会の提供を行っています。

*出典：杉並区HP



コラム（地域の活動）

1、「荻窪の記憶」プロジェクトによるまちの歴史の伝承



明治・大正・昭和にかけて、別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅へと発展した荻窪の歴史を掘りおこし、パネル展示や講座を通して伝える活動を行っています。
実施主体：荻窪地域区民センター協議会
出典：荻窪地域区民センター協議会 HP

2、荻窪の歴史・文化・地形に関するまち歩きガイド



- ・荻窪の歴史に関する知識を地域の方に広めることにより、まちに対する愛着をより深めてもらうことを主旨として、「荻窪百点文化講座『荻窪を知る』ガイド」など、様々なまち歩き講座を実施しています。（（株）明るい生活社 荻窪百点）
- ・「荻窪満喫8の字コース」等複数のコースを設定し、地元ガイドによるまち案内を行っています。「荻窪三庭園めぐりコース」では、三庭園を結ぶエリアを“荻窪南文化トライアングル”として、その魅力を紹介しています。（（一社）すぎなみ文化協会まちづくり部会杉並ガイドの会）
- ・「荻外荘通り」（地域愛称）を軸として、大田黒公園、角川庭園、荻外荘などの歴史的・文化的資源を中心に訪ね歩く野外講座を開催し、気軽に楽しくまちを知る機会を提供しています。（荻窪地域区民センター協議会）

出典：各団体のHP

叶えたい具体的なまちのイメージ【その2】

地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、
来街者を気持ちよくお迎えするまち

■まちの現状

- ・（仮称）荻外荘公園^{てきがいそう}の令和6年（予定）の公開を控え、地域でのムード盛り上げも、来街者のお迎え準備も、まちがひとつとなり統一感を持って進めるために、荻窪にふさわしいデザインが必要だとの意見があります。
- ・一方、今後、来街者の増加が見込まれることに対して、地域住民の方から不安の声も聞かれます。
- ・平成8年に定められた「大田黒公園周辺地区地区計画」により、みどりの保全と建築物等に関する制限などを行っており、みどり豊かな落ち着いたあるまちなみが維持されています。
- ・みどり豊かな荻窪ですが、まち歩きの主軸となる「荻外荘通り」（地域愛称）沿道に、もう少しみどりのつながりが見られると良い、という声があります。

■現状を踏まえた提案プラン

荻窪的デザインでいこう プラン

- 本書に位置づく様々な提案プランを、荻窪にふさわしい素敵なデザインのもと進めるため、専門家の意見も聞きながら、デザインコンセプトを確立します。

実施主体



ご近所おもてなし プラン

- 今後更なる来街者の増加が見込まれる（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園（以下、3つの庭園を「三庭園」という。）のご近所の皆さまに対して、日頃のお礼と末永いお付き合いのお願いの気持ちを込めて、特別見学やイベントの先行ご招待などを行います。

<既に実施されている取組です。>

実施主体



まちをみどりで演出 プラン

- まち歩きの主軸となる「荻外荘通り」（地域愛称）などをはじめとして、まちの沿道のみどりを有志の方々により少しずつ増やしていきます。

実施主体



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■提案プランイメージ

＜参考事例1：町の統一ロゴマークの作成（東神楽町/まちづくり推進課）＞

- ・まちの知名度の向上や農産物、加工品などに更なる付加価値を与えることを目的に、複数の地元団体代表者と複数の協議会やワークショップを開催し、ロゴマークが作成されました。ロゴマークを使用した製品に関する経費の一部を助成する等により、東神楽ブランドの構築と推進を図っています。

* 出典：東神楽町 HP



＜参考事例2：みどりのベルトづくり事業の実施（杉並区/みどり公園課）＞

- ・杉並区では、まちづくりの一環として「みどりのベルトづくり」に取り組んでおり、「公共のみどり」と「家のみどり」をベルトのようにつなげる活動に協力してくださる方に植物・資材の提供等を行うことで、美しいまちなみの形成や活動をきっかけとしたコミュニティの形成を推進しています。

* 出典：杉並区 HP



＜参考事例3：まちの魅力アップ推進事業の実施（八王子市/市街地活性課）＞

- ・中心市街地の民地でまちの新たな魅力となるものを整備する民間の取組に対し「八王子市魅力づくり支援補助金」として経費の一部の補助を行っています。
- ・通行人の休憩スペースの設置や良好なまちなみを演出するみどりの設置や管理、中心市街地の集客やイメージアップに関わるもの等、公共性や公益性の高いものを対象とし、まちの活性化を推進しています。

* 出典：八王子市 HP



叶えたい具体的なまちのイメージ【その3】

貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち

■まちの現状

- ・三庭園、西郊ロッチングなど、国指定・登録の有形文化財等の資源が多く残されていますが、駅から離れた住宅地に点在しているため、「場所がわかりづらい」との声があります。
- ・まちの成り立ちや歴史は、スタディ・ツーリズムの展開に関する可能性が感じられます。その学びの拠点の一つとなり得る杉並区立中央図書館は、73万点もの資料を有し、都内でも有数の所蔵点数を誇ります。
- ・三庭園を始めとする各施設では、恒例イベントも多く実施されており、今後は、各施設間のコラボレーション企画の可能性も感じられます。
- ・多様な価値観を持つ来街者によりまちが賑わう一方で、「住宅地では周辺への配慮をお願いしたい」という地域の声もあります。

■現状を踏まえた提案プラン

荻窪道しるべプラン

実施主体

- 路面等も活用し、スムーズなまち歩きをサポートする案内サインを設置します。
- ICTを活用し、まちの歴史に関するエピソードを楽しめるような工夫も行います。



歴史的・文化的資源のはしごはかがプラン

実施主体

- 三庭園を始めとする各施設間の情報共有により、より質の高いサービスを提供します。また、各施設合同イベント等の開催により、「1度で何度も楽しいまちの学び方」も提案します。＜一部既に実施されている取組です。＞



これでわたしも荻窪通プラン

実施主体

- 主に来街者の方を対象に、実際に活動されている地元のボランティアガイドの方々が、荻窪の歴史・文化についてきめ細かい案内をします。＜既に実施されている取組です。＞



気配り思いやりまち歩きプラン

実施主体

- 訪れる方に、歴史的・文化的資源とともに“今そこにある暮らし”にも魅力を感じ、それを守り尊重してもらえよう、“住宅地としての荻窪”を効果的にアピールします。
- 住宅地への気配り・思いやりのあるまち歩きのマナー等を呼び掛けます。



実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■提案プランイメージ

＜参考事例1：五足の靴文学遊歩道の整備（天草市/熊本県観光物産課）＞

- ・日本の近代文学者の基礎となった作品を次々に送り出した与謝野寛（鉄幹）、北原白秋、平野万里、吉井勇、木下杢太郎の5人の詩人が作成した紀行文の舞台となった道の一部を遊歩道として整備したものです。
- ・5人の詩人の旅のエピソードや「五足の靴顕彰全国短歌大会」の入選作品などを記した掲示板の設置、展望台や休憩所の設置等を実施し、歴史に思いを馳せることができます。

* 出典：（一社）天草宝島観光協会 HP



＜参考事例2：スタディ・ツーリズムの実施（川崎市/（一社）川崎市観光協会）＞

- ・川崎市には京浜工業地帯の中心として産業経済を支えてきた多種多様な工場・事業所等が数多く存在しています。
- ・稼動している工場や産業文化財等、普段は入ることができないものづくりの現場を訪ね、実際に触れることで（インダストリアル・スタディ・ツーリズム＝産業訪問）、その大切さと携わる人々の心を学ぶという新たな観光を提供しています。

* 出典：（一社）川崎市観光協会 HP



＜参考事例3：Travel.Enjoy.Respect キャンペーンの実施（国際連合）＞

- ・国連は、2017年を「開発のための持続可能な観光の国際年」と定め、開発途上国における観光の役割を世界に広くアピールしました。そのなかで、Travel.Enjoy.Respect キャンペーンを展開し、旅先での相互理解など、観光が持つ力を伝えました。その公式ホームページでは、「Travel.Enjoy.Respect Toolkit」という、自分が考える節度ある持続可能な観光・旅を、誰でも簡単にインターネット上でアピールすることができるアプリのダウンロードサービスを実施しました。また、「#travelenjoyrespect」のハッシュタグで、SNS上でも広く呼び掛けました。

* 出典：国連世界観光機関 HP

＜参考事例4：マナーガイド冊子の作成（北海道/（公社）北海道観光振興機構）＞

- ・外国人観光客を受け入れる北海道の観光施設や宿泊施設、飲食店等で文化や慣習の違いによりトラブルが生じていることを受け、外国人がよく利用する施設や交通機関に実施したヒアリングをもとに、日本での旅行マナーを示したものです。
- ・マナーの背景となる日本のルールや生活習慣が記載される等、理解しやすい工夫がなされています。

* 出典：（公社）北海道観光振興機構 HP



コラム（地域の活動）

1、愛称の決定と愛称プレートの設置



（仮称）^{てきがいそう}荻外荘公園をはじめ、多くの国指定・登録有形文化財等が面する通りに愛称をつけるキャンペーンを実施し、愛称の普及のため、愛称プレートの作成・設置を行っています。

実施主体：荻窪地域区民センター協議会
出典：荻窪地域区民センター協議会

叶えたい具体的なまちのイメージ【その4】

歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの
仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

■まちの現状

- ・余裕を感じるまちなみ、趣のある建物、宅地内のみどりなど、歴史的・文化的資源以外にも、まちの成り立ちや歴史を感じさせる要素が多くあり、まち歩きで楽しめる“もう一つの資源”となっています。
- ・駅を起点として放射状に展開する商店街は、まち歩きの“ベースキャンプ”として十分なポテンシャルを持っており、商店街も合わせて楽しむのが“荻窪的まち歩き”である、と勧める地元の声があります。
- ・“荻窪的まち歩き”を楽しむ場合、ある程度長い距離を歩くことにはなりますが、住宅地へ入ってしまうと、ちょっと一休みとして腰掛けられる場所がほとんどありません。

■現状を踏まえた提案プラン

ＯＨＯ（オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo）プラン

実施主体

- Open House London などをお手本に、地域の方々の協力を得ながら、まちの趣ある建物やお庭を見学できるようなイベントの実施に向け、各種調整を行います。



とっておきのイラストマップ プラン

実施主体

- デザインコンセプトに基づき、まち歩きで使った後も、そっと自宅の引き出しにしまっておきたくなるような、素敵なイラストマップを作ります。



イマドキノツタエカタ プラン

実施主体

- 商店街も含めた地域資源の情報や、「住宅地への気配り・思いやりのあるまち歩きのあり方」を意識していただけるようなメッセージなどを、目的にあった媒体や言語（表現）で発信します。
- 自宅の一室などを“一日ギャラリー”のように開放して、地域の方々が自らの文化活動・創作活動を道行く人に気軽に発表し、そこで交流が生まれるような場づくりに努めます。



どうぞご自由にお掛けください プラン

実施主体

- 一般のお宅の車庫脇や商店街の店先など、ちょっとしたスペースに腰掛けられるものを置いてもらい、まち歩きはもちろん、地域の方の買い物途中の休憩にも役立てられるお休みどころを広げます。



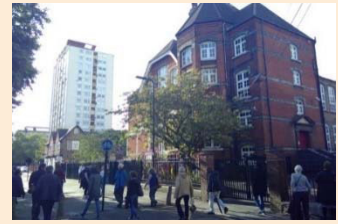
実施主体凡例：● 地域住民・団体 / ■ 行政 / ▲ 事業者（企業、周辺の学校等）
※塗りは主な実施主体者

■提案プランイメージ

＜参考事例 1： Open House London（ロンドン）＞

- ・毎年9月の週末2日間のみ、普段は公開されていないロンドンの優れたデザインを持つ建築を無料で一般公開するイベントです。一般市民や建築を学ぶ学生たちに優れたデザインを知る機会を提供し、市民参加によるまちづくりをより活力あるものにする事で、ロンドンの価値を更に高めることを目的として実施しています。

* 出典：Open House London HP



＜参考事例 2：こだいらオープンガーデン（小平市/（一社）こだいら観光まちづくり協会）＞

- ・訪れた方が季節の植物を楽しみ、交流を深め、自然とうるおいのある街となることを目指し、個人の庭を一般に公開するオープンガーデンという活動を行っています。
- ・オープンガーデンを案内するマップも作成しており、丹精込めた庭の魅力発信だけでなく、まち歩きに便利な周辺施設の情報なども得ることができます。

* 出典：小平市 HP



＜参考事例 3：下田 30COLORS PROJECT（下田市/（一社）下田市観光協会）＞

- ・歴史、景観、グルメ等に関するまちのおすすめスポットを 30 種類以上の様々なジャンルに分類し、ジャンルごとのカラフルな冊子を作成しています。なかには白地図の冊子もあり、自分好みのマイマップが作成できるなど、工夫を凝らしたまち歩きの推進をしています。

* 出典：（一社）下田市観光協会 HP



＜参考事例 4：まちなかの小休憩所の設置（杉並区/店舗）＞

- ・店先にさりげなく椅子が置かれ、誰でもひとと休みできる場を提供しています。地域の方による心遣いは、住民の日常生活への助けだけでなく、来街者を迎え入れる雰囲気演出にも寄与すると考えられます。



コラム（地域の活動）

1、まちの魅力グッズの作成・販売



（一社）すぎなみ文化協会では、荻窪のシンボリック建物を会員がイラスト化した『荻窪八景』絵はがき等をすぎなみビジターセンターで販売し、まちの魅力を発信しています。

実施主体：（一社）すぎなみ文化協会

出典：（一社）すぎなみ文化協会 HP

2、荻窪百点.com・荻窪検定の実施



「荻窪百点.com」は、すぎなみのタウン誌「荻窪百点」のブログ版で、荻窪の歴史や見どころ、名店、グルメや地域イベント等の情報を発信しています。さらに荻窪の知識度を測れる「荻窪検定」を実施し、荻窪の歴史に関する知識を地域に広めることで、まちに対する愛着をより深めてもらう取組を進めています。

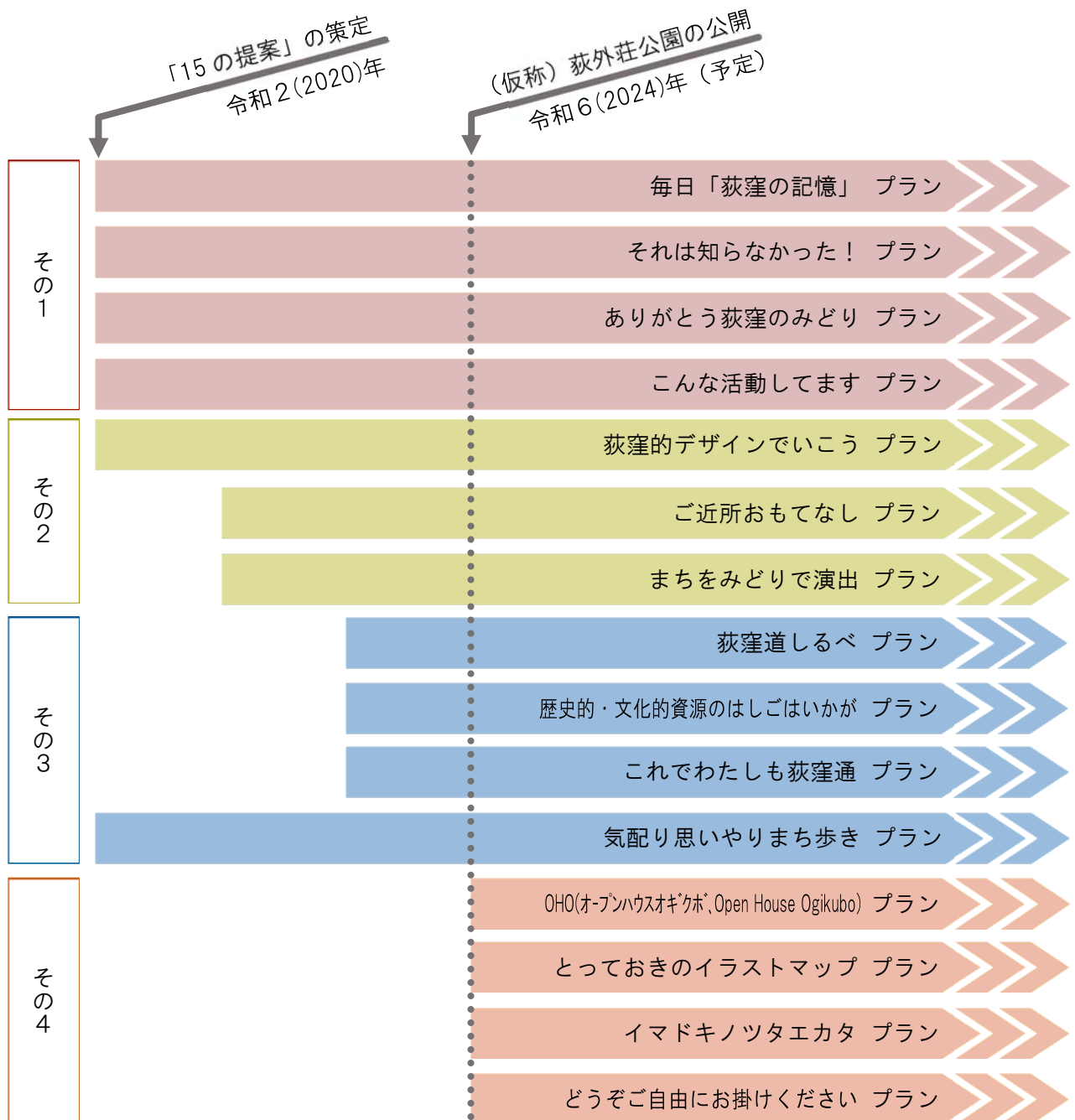
実施主体：（株）明るい生活社 荻窪百点

出典：荻窪百点.com

6

各提案プランの実施ステップ

5. では、叶えたい具体的なまちのイメージその1からその4までの実現のための様々な提案プランをご紹介しました。本書は、その1からその4まで、概ね順を追って提案プランを進めていくことで、まちの魅力を守りつつ、来街者をお迎えする準備も着実に整え、「住んでよし訪れてよしのまち」に向かう組み立てとなっています。以下の図は、各提案プランの大まかな実施ステップをイメージしていただけるよう整理したものです。まずは、（仮称）荻外荘公園^{てきがいそう}の公開（令和6年予定）に向けてスタートします。



■参考：まちづくり方針「テーマ別の取組の方向性」と各提案プランの関連性

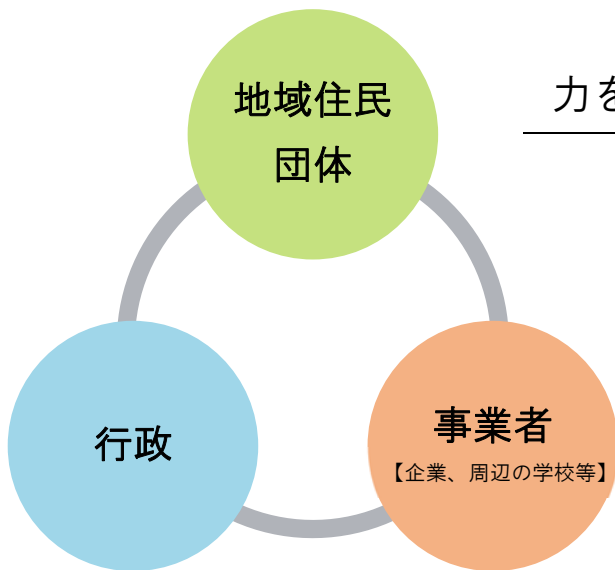
＜まちづくり方針の「テーマ別の取組の方向性」＞

目標Ⅰ 人にやさしい、 歩いて楽しめる まち	①南北連絡動線の充実	目標Ⅲ にぎわいと 住環境が調和し た生活利便性の 高いまち	①多様な都市機能の充実
	②駅前広場機能の充実		②共同建替えや協調的な土地利用の誘導
	③歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上		③商店街等の歩行環境や買い物環境の向上
	④地域連携の促進		④荷捌き環境の改善
目標Ⅱ 災害に強く、 安全で 安心して暮ら せるまち	①拠点駅周辺としての防災機能の充実	目標Ⅳ 歴史文化の薫 り漂う、住ん でよし、訪れ てよしのまち	⑤みどり豊かで良好な住環境の保全・育成
	②木造建築物の密集度の高い住宅地の防災性向上		⑥緑化推進とオープンスペースの充実
	③主要生活道路等の整備		⑦地域交流の促進
	④狭あい道路拡幅整備の推進	目標Ⅳ 歴史文化の薫 り漂う、住ん でよし、訪れ てよしのまち	①良好な景観づくりの推進
	⑤幹線道路沿道等における耐震化・不燃化の促進		②歴史的・文化的資源を生かした 観光まちづくりの推進
	⑥水害対策の推進		③地域の魅力発信
	⑦地域防災力・防犯力の強化		

毎日「荻窪の記憶」プラン	Ⅳ②		
それは知らなかった！プラン	Ⅳ②		
ありがとう荻窪のみどりプラン	Ⅲ⑤		
こんな活動してますプラン	Ⅰ④	Ⅲ⑦	
荻窪的デザインでいこうプラン	Ⅲ⑦	Ⅳ②	Ⅳ③
ご近所おもてなしプラン	Ⅳ②		
まちをみどりで演出プラン	Ⅲ⑤	Ⅳ②	
荻窪道しるべプラン	Ⅳ②	Ⅳ③	
歴史的・文化的資源のはしごはいかがプラン	Ⅳ②		
これでわたしも荻窪通プラン	Ⅳ②		
気配り思いやりまち歩きプラン	Ⅳ②	Ⅳ③	
OHO(オープンハウスオギクボ、Open House Ogikubo)プラン	Ⅳ②	Ⅳ③	
とっておきのイラストマッププラン	Ⅳ②	Ⅳ③	
イマドキノツタエカタプラン	Ⅲ⑦	Ⅳ③	
どうぞご自由にお掛けくださいプラン	Ⅳ②		

7

今後に向けて



力を合わせて

「地域住民・団体」、「行政」、「事業者（企業、周辺の学校等）」がそれぞれの役割を担いながら、協働により各提案プランに取り組みましょう。

また、各プランを組み合わせる等して、16番目、17番目…のプランをつくってもいいのです。皆のアイデアで、新たな提案もしましょう。

思いやり＝心地よさ

「住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、住む人も、訪れる人も、お互いに心地よく過ごせるようなまち歩きのあり方を意識しながら取り組みましょう。



フォロー＆サポート

杉並区は、実施主体としての役割はもちろん、地域住民・団体、事業者にとっての相談窓口の役割も務めます。

各プランが、楽しく続けられ、地域に根差したものとなるよう、取組の熟度に応じたフォロー・サポートを行います。

参考資料

(1) 地域資源	①すぎなみ景観ある区マップ ・ 荻窪南編 ・ 荻窪北・下井草編
	②駅からお散歩マップ ・ おぎくぼ南エリア ・ おぎくぼ北エリア
	③三庭園めぐりマップ
(2) 策定経緯	
(3) 参考文献	

(1) 地域資源

①すぎなみ景観ある区マップ

・荻窪南編（抜粋・一部追加）



1 杉並「まち」デザイン賞 西郊ロッキング
昭和初期に買い付き高級下宿として建てられた建物です。国の登録有形文化財です。



2 オーロラの碑
かつてここにあった区立公民館から原水爆禁止運動が発祥したことを記念して建てられました。



3 読書の森公園
区立中央図書館に隣接し木陰で本が読める公園です。図書館側にガンジー像が建てられています。



5 荻外荘(国指定史跡)
荻外荘は、昭和戦前期に総理大臣を3度務めた政治家、近衛文麿の別邸です。平成28年3月に国の史跡に指定されました。



6 角川庭園
角川源義氏の旧邸宅を活かした庭園です。園内の幻戯山房は国の登録有形文化財です。



10 与謝野公園
与謝野鉄幹・晶子夫妻の旧居跡につくられた公園です。夫妻の歌碑があり、近くの桃二小の校歌は晶子の作詞です。



11 荻窪南口仲通り商店会
荻窪駅南口から南へ環八通り近くまで450m続く、何となく懐かしくほっとする活気もある商店街です。

出典：すぎなみ景観ある区マップ 荻窪南編（みどり公園課）/2018.12 改版

URL： https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_001/013/453/201812ogimina.pdf



・荻窪北・下井草編（抜粋・一部追加）



1 荻窪駅の「荻」
荻窪の地名の由来となった、水辺の湿地に生えるオギが植えられています。ススキに似た大型の多年草です。



2 荻窪タウンセブン
戦後にできた新興マーケットが、1981年に7階建てビルになりました。屋上からの風景と魚屋が杉並百景です。



3 教会通り商店街
大正6年に設立された天沼教会が奥にあり、昭和の雰囲気と建物が残る、狭い通りの賑やかな商店街です。



4 ときのおアシ
天沼もえぎ公園に併設された休憩所で、時の門・地獄の天窓・日時計があります。すぐ隣に自然生態園もあります。



5 天沼弁天池公園
かつて天沼弁天池と呼ばれる湧水池があり、中ノ島に弁天様が祀られ雨乞も行われました。カルガモ親子がいるかも。



6 郷土博物館分館
郷土博物館の分館として天沼弁天池公園内に建てられ、主として企画展や区民参加型展示が行われます。



13 荻窪白山神社
中世にはあったと言う旧下荻窪村の鎮守です。都内有数の大神輿・大太鼓があります。女みこしが杉並百景です。



14 光明院
通称「荻寺」と呼ばれ、荻窪の地名の由来と言われていています。南北朝期の開創で、多くの仏像・石仏があります。

出典：すぎなみ景観ある区マップ 荻窪北・下井草編（みどり公園課）/2019.5 改版

URL： https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/001/013/453/201905ogikitasimoigusa.pdf





駅からお散歩 マップ おぎくぼ南エリア

約2.5時間
(3.4km)



緑豊かなエリアを歩いて季節感を味わうちいさな旅

大正末～昭和の初めにかけて善福寺川周辺の荻窪や南荻窪周辺には、医師・軍人・文化人の邸宅が多く建築され「東の鎌倉」と称される人気のエリアでした。



明治天皇荻窪御小休所

荻窪駅南口から2・3分歩くと商店街を抜けたビルの裏手に「明治天皇荻窪御小休所」と書かれた石柱と堂々とした長屋門が見えてきます。この長屋門と隣接するお茶室は「下荻窪村の庄屋」中田家のもので明治16年埼玉県飯能市付近で行われた近衛師団の統監、また同年、小金井での観桜会の折りに明治天皇が小休所として利用され、昭和9年に文部省により史跡に指定されましたが、太平洋戦後指定は、解除されました。高層ビルと長屋門がつくるなんともいえない不思議な空間は、田中家が土地を売却する際に、この長屋門と小休所は残す事を条件としたことにより現在に至っています。

西郊ロッジ

お問い合わせ: 03-3391-0606

昭和のはじめ、全室洋間の高級下宿として創業し、現在はレトロなアパートメントと割烹旅館として営業しています。国の登録有形文化財に指定されている建物は、昭和モダンの佇まいで80年近い時を刻んでいます。特に青銅のドーム屋根はこの建物を魅力的にしています。いろいろな雑誌などで紹介されているので写真で見た方は多いと思いますが、実物の持つ独特のオーラを感じてみてください。旅館は宿泊も可能とのこと。



オーロラの碑

荻窪体育館の角に「オーロラ」と題したオブジェがあります。この場所には、昭和28年に杉並区立公民館ができ、教養講座や自主講座が開かれていました。こうした活動の中から昭和29年におこったビキニ環境での水爆実験により被ばくした、第五福竜丸事件をきっかけに公民館を拠点にした主婦のみなさんを中心となりおこした原水爆禁止署名運動は、2000万を超える署名が集まり全国的な運動に発展していきました。昭和30年には、広島で原水爆禁止世界大会が開催され杉並は、世界的な原水爆禁止運動の発祥の地と言われています。



大田黒公園

お問い合わせ: 03-3398-5814

大田黒公園は、音楽評論家 大田黒元雄氏の屋敷跡にある公園です。門を入り銀杏の大木の長い並木道を歩くと日本庭園に。自然の起伏を生かした回遊式の庭園は、一番奥の池に向かってなだらかに下って行きます。芝生の中央には松の大木があり、その周囲にはナラやケヤキの大木にまじってカエデやモミジがあり秋には見事な紅葉を楽しませてくれます。園内にある赤いトンガリ屋根の洋館は、大田黒氏の仕事場で現在は記念館として内部が公開されています。



角川庭園・幻戯山房すぎなみ詩歌館

お問い合わせ: 03-6795-6855

2009年5月にオープンした角川庭園・幻戯山房すぎなみ詩歌館は、角川書店の創立者である角川源義氏の旧邸宅で遺族より2006年に杉並区へ寄贈されました。昭和30年ごろに建てられた近代数寄屋造りの邸宅で国の登録有形文化財に指定されています。庭園には、四季の草花や水琴窟があり俳人・国文学者としても有名な角川源義氏の多彩な側面がしのばれます。



与謝野公園

荻窪駅から南西方向半径600mの環八から約100m入ったこの場所にはかつて与謝野寛(鉄幹)・晶子が晩年を通じた旧居跡です。明治・大正・昭和にわたり近代詩歌に功績を残した歌人へ、明治37年に詠んだ「君死にたまふことなかれ」は晶子の詩です。園内の入り口には門柱があり、当時の建物の間取りの一部を模した通路には歌碑が建立されて、時代背景を想像し往時を思い描いてみながらの散歩が楽しめます。



素敵なお店がいっぱい！
探検してみよう
荻窪南口仲通り商店街



杉並区産業振興センター 観光係 ☎167-0043 杉並区上荻1-2-1 インテグラルタワー 2階



・おぎくぼ北エリア



駅からお散歩 マップ おぎくぼ北エリア

約1.0時間 (2.5km)

荻窪銀座商店街

荻窪寿通り商店街

天沼八幡通り商店街

天沼八幡神社

天沼弁天池公園

セブンスター・アドベンチスト天沼教会

教会通り商店街

白山通り商店街

光明院

昭和レトロな散歩道
 荻窪駅の北口には、ルミネやタウンセブンといった大型商業施設の他にも路地を曲がると多くの商店街が点在しています。

昭和の初めごろ荻窪駅北口の周辺には、荻窪風土記で有名な「井伏鱒二」を中心に太宰治や上林暁といった多くの作家が移り住んできました。駅周辺には昔からの商店街が残っていて、狭い裏路地に沢山の飲食店がひしめき、夜になり提灯に火が入るころには独特の空気を醸し出しています。また、青梅街道をわたると趣の異なる商店街があり、まるで昭和時代にタイムスリップしたかのように感じます。

旧天沼村宇中谷戸の鎮守で天正年間(1573-1591)の創建と伝えられています。境内には、大鳥神社がある関係で、11月には、酉の市(熊手市)が開かれ多くの人が訪れます。戦前この周辺には、軍の施設があった関係で軍人が多く住んでいました。その奥さんと娘さんたちが荻窪駅から汽車に乗って、テバートや観劇に出かけるので天沼八幡通りは、「美人通り」といわれたそうです。

昔、地下水が湧く天沼弁天池といわれる池があり、桃園川の水源地のひとつでした。池には、小さな島があり、弁天様が祀られ、日照りのときには雨ごいが行われていたと伝えられています。昭和35年ごろまではスイレンなどが咲き、魚が泳ぐ池でしたが周辺の都市化の進行とともに池は埋れてしまい埋め立てられました。平成19年に杉並区が公園として整備しましたが、現在の池は公園になる以前人工的に作られた池を残したもので、井戸水を利用しています。また、池にあった祠は元の池を埋め立てた際、現在の位置に移され、地域をやさしく見守っています。

セブンスター・アドベンチスト天沼教会は、大正6年に設立され武蔵野の雑木林に建つ教会や宣教師の宿舎などの洋館は近隣のシンボルともなっていると言われていました。現在の教会は、昭和58年に建てたものです。同じ敷地内に東京衛生病院を有し、かの文豪井伏鱒二が散歩の途中によく立ち寄った教会として有名です。毎週土曜日には礼拝があり、多くの人が訪れます。

天沼教会から少し歩くとにぎやかな商店街に入っていきます。昔ながらの八百屋さんやお肉屋さん、クリーニング屋さんの隣には、モダンなカフェなどが点在してレトロでモダンな趣を醸しています。青梅街道の横断歩道を渡ると一転してビルに囲まれたにぎやかな駅前商店街になります。商店街をぶらぶら歩いて行くと旧下荻窪村の鎮守で歯の神様として知られている荻窪白山神社の前に出ます。

寺の縁起によると、和銅元年(708年)行者が千手観音を背負ってこの近くを通ると、不思議にも仏像が重なり、歩くことが出来なくなりました。行者は、仏像がこの地に縁があると思い仏像を安置し草堂を萩堂(萩寺)と名付けました。それ以来このあたり一帯を萩窪と称したといわれています。お寺には、萩の小径という遊歩道があり四季折々の草花が咲いています。


 杉並区産業振興センター 産業観光係 ☎167-0043 杉並区上荻1-2-1 インテグラルタワー 2階



③三庭園めぐりマップ



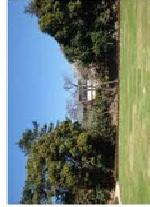
■ (仮称) 荻外荘公園

荻外荘は、昭和戦前期に内閣総理大臣を3度務めた政治家 近衛文麿の別邸です。近衛内閣時代における重要な政治会談(荻窪会談・荻外荘会談等)や組閣の舞台となった場所として、平成28年3月に建物を含めて敷地全体が国の史跡に指定されました。

現在、一般開放部分と建物を含む閉鎖部分に分かれており、イベント時には閉鎖部分も開放されます。開放部分からは、建物の全景を見ることができます。

【基本情報】

住 所：杉並区荻窪2-43
開園時間：午前9時から午後5時
(一般開放部分)
休 園 日：12月29日から1月1日



国指定 史跡 荻外荘復原・整備 ご寄付のお願い

現在、荻外荘の建物の一部は豊島区に移築されていますが、移築部分を再び荻窪に移築し、公園として整備していきます。歴史的・文化的資源の保存にご賛同いただき、皆さまからのご寄附をお待ちしています。

1万円以上のご寄附をいただいたすべての皆様に「(仮称) 荻外荘倶楽部」の会員として特典をご用意しています。

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の「杉並区」のページへアクセスしてください。

<https://www.furusatotax.jp/japan/prefecture/13115>



三庭園めぐりマップ

平成30年11月 初版発行

発行・編集 / 杉並区都市整備部みどり公園課
〒166-8570
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎ 03-3312-2111 (代表)

■ 大田黒公園

大田黒元雄氏の屋敷跡を杉並区が日本庭園として整備し、昭和56年10月1日に開園しました。樹齢百年を超えるイチヨウ並木や当時としては珍しい西洋風建築物があり、生前大田黒氏が愛用していたピアノ・蓄音機などが展示されています。

また、イチヨウやモミジが鮮やかに染まる11月下旬から12月初旬には、ライトアップが毎年開催されています。

【問合せ先】大田黒公園管理事務所
住 所：杉並区荻窪3-33-12
電話番号：03-3398-5814
開園時間：午前9時から午後5時まで
(入園は午後4時半迄)
休 園 日：12月29日から1月1日
U R L：http://www.hakone-ueki.com/sub/



■ 角川庭園・幻戯山房 ～すぎなみ詩歌館～

俳人で角川書店の創設者である角川源義氏の旧邸宅を、杉並区が遺族から寄贈を受けて改修し、平成21年5月10日に区立公園として開園しました。

建物は、昭和30年竣工の木造二階建瓦葺近代数寄屋造で、平成21年11月に国の登録有形文化財に、平成28年9月に区の景観重要構造物に登録されました。

ここでは、角川源義氏の俳句、写真、所蔵品の展示や句会・茶会・講座が催されています。

【問合せ先】すぎなみ詩歌館

住 所：杉並区荻窪3-14-22
電話番号：03-6795-6855
開園時間：午前9時から午後5時まで
休 園 日：毎週水曜日、
12月29日から1月1日

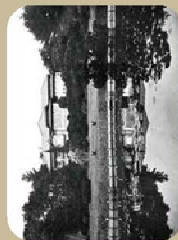


昭和情緒の香る、荻窪周辺の三つの公園をめぐるコースを用意しました。
 みどり豊かな住宅地や賑やかな商店街などを散策して、荻窪のまちを楽しんでみませんか。



三庭園めぐりマップ

■(仮称)荻外荘公園

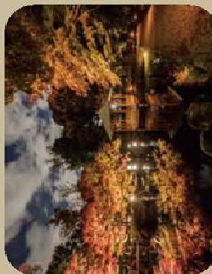


荻窪駅の荻外荘(個人蔵)



高瀬公園からの眺め

■大田黒公園

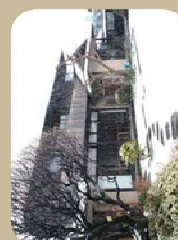


大田黒公園ライトアップ



スライムウェイ社のピアノ

■角川庭園・幻戯山房 ～すざなみ詩歌館～



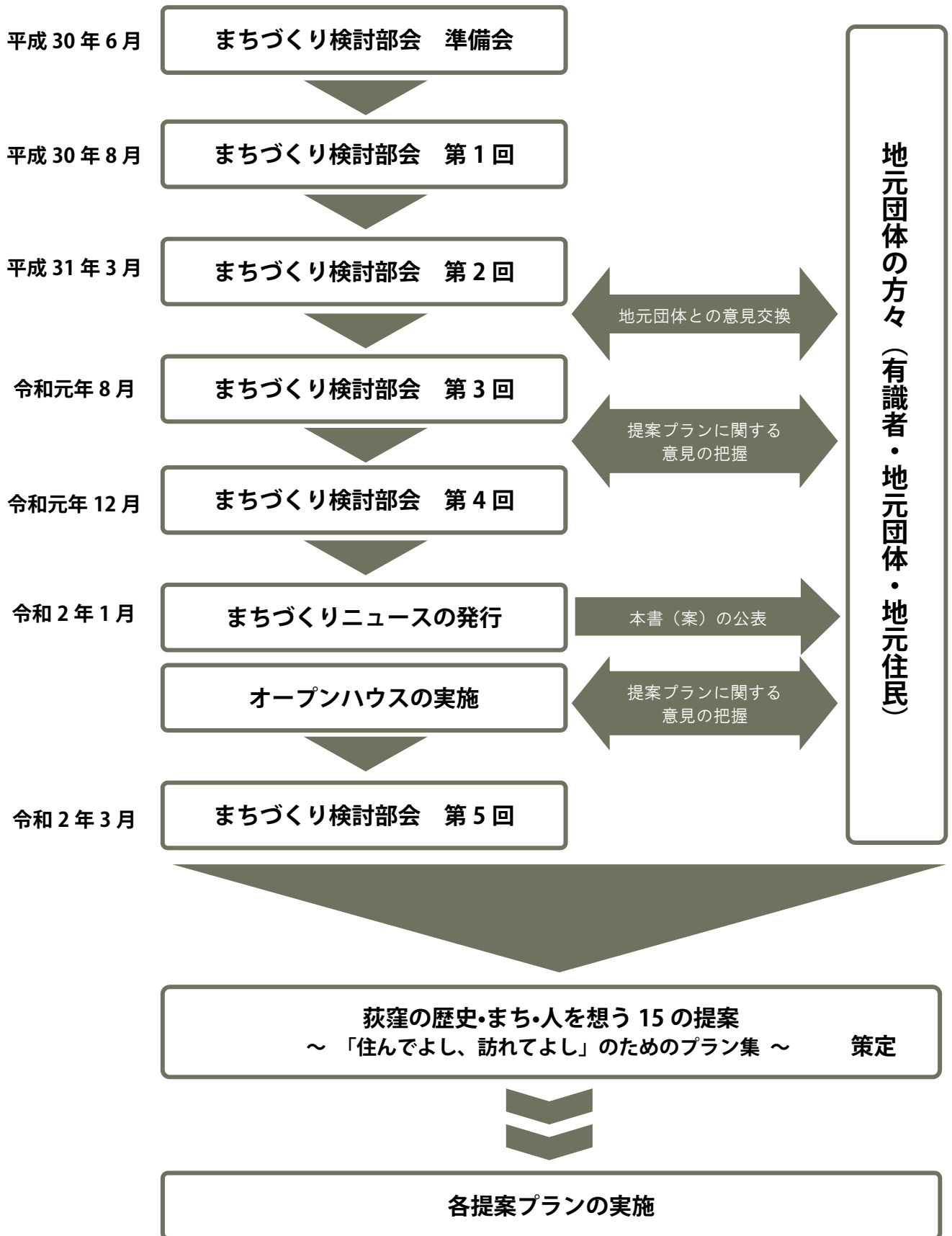
雪の角川庭園



展示室

(2) 策定経緯

※まちづくり検討部会…杉並区荻窪駅南側エリアの歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくり検討部会の略称



(3) 参考文献

- 郊外の文学誌／川本三郎・2012 年
- 東京高級住宅地探訪／三浦展・2012 年
- 井荻町土地区画整理の研究 - 戦前期東京郊外の形成事例として - ／高見澤邦郎・2006 年
- 荻窪の記憶／荻窪地域区民センター協議会・2019 年
- 国史跡指定記念特別展「荻外荘^{てきがいそう}」と近衛文麿／杉並区郷土博物館・2016 年 4 月
- 文化財シリーズ 46 国指定史跡 荻外荘^{てきがいそう}（近衛文麿旧宅）／杉並区郷土博物館・2017 年 3 月
- 土地利用現況調査（2017）
- 杉並区公共サインマニュアル／杉並区・1994 年 3 月
- 荻窪百点.com
<https://ogikubo100ten.com/>
- （一社）すぎなみ文化協会杉並ガイドの会
<https://suginun.jimdo.com/杉並ガイドの会-まちづくり部会内/>
- 荻窪区民センター協議会
<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
- ポートベロロードアートプロジェクト
<https://www.rbkc.gov.uk/leisure-and-culture/culture/portobello-wall-public-art-project>
- 東神楽町 ブランドロゴマーク
<https://www.town.higashikagura.lg.jp/docs/380.html>
- 杉並区 みどりのベルトづくり
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/machi/midori/1005062.html>
- 八王子市 八王子市魅力づくり支援補助金
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/002/p006357.html>
- （一社）天草宝島観光協会 五足の靴文学遊歩道
<https://kumamoto.guide/spots/detail/11296>
- （一社）川崎市観光協会 スタディ・ツーリズム
http://www.k-kankou.jp/study_tourism/index.html
- 国連世界観光機関 Travel.Enjoy.Respect キャンペーン
<http://www.tourism4development2017.org/travel-enjoy-respect>
- （公社）北海道観光振興機構 マナーガイド冊子
<https://www.visit-hokkaido.jp/company/material/detail/18>
- Open House London
<https://openhouselondon.org.uk/>
- （一社）こだいら観光まちづくり協会 こだいらオープンガーデン
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/007/007479.html>
- （一社）下田市観光協会 下田 30COLORS PROJECT
<https://www.shimoda-city.info/shimoda/30colors/>

荻窪の歴史・まち・人を想う 15 の提案
～ 「住んでよし、訪れてよし」のためのプラン集 ～

令和 2（2020）年 3 月 発行

登録印刷物番号
02-0006

編集・発行 杉並区都市整備部市街地整備課荻窪まちづくり担当
事務局 〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南 1-15-1
電話 03-3312-2111（代表）